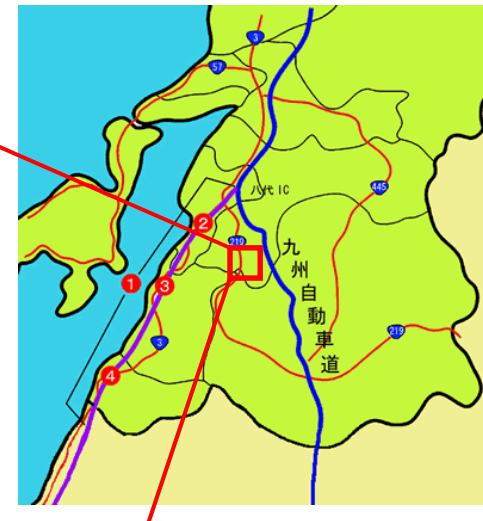


熊本県八代市坂本町での土砂崩れについて(概要)

- ①日時 : 6月3日7時45分頃(住民からの通報)
全面通行止め: 9時30分~6月4日11時50分【一般交通解放】
- ②場所 : 熊本県八代市坂本町市ノ俣(くまもとけん やつしろし、さかもとまちいちのまた)
1級市道市ノ俣線
- ③人身・物損 : 人的被害なし、物的被害なし
- ④孤立集落 : 住民24名中、21名が孤立 あとの3名(横様地区1名、市ノ俣地区2名)は地区外に外出中 → 孤立解消
- ⑤交通状況 : 迂回路なし
- ⑥原因 : 土砂崩壊(詳細確認中)
- ⑦インフラ : ライフライン(電気・水道・電話)確保
- ⑧復旧 : 6月4日11時20分 大型土嚢の設置を完了し、一般交通解放(八代市決定)
※ただし、雨量規制を設定: 時間20mm又は、連続雨量100mmになった場合は通行止め
- ⑨その他 : NHK報道あり、安否確認済み。

熊本県八代市坂本町での土砂崩れについて(概要)



熊本県八代市坂本町での土砂崩れについて(概要)

発生から市道交通解放までの状況

- 6月3日 9:30 熊本県八代市坂本町の市道市ノ俣線において土砂崩れにより15世帯24名が孤立
横様地区(よこさまちく)5世帯11名、市ノ俣地区(いちのまたちく)10世帯13人)
- 11:00 八代市役所へリエゾン(情報連絡員)を派遣
- 13:30 現地調査班を現地へ派遣
→テックドクターの派遣について検討した結果、要請することを決定
→九州技術事務所の照明車を八代河川国道事務所へ移動することを決定
→大型土嚢、照明は八代市が保有
- 18:50 緊急車両と地元車限定で通行可とした
- 6月4日 10:00 テックドクターによる現地調査開始
→交通解放及び今後の規制運用を決定

熊本県八代市坂本町での土砂崩れに伴うテックフォースの活動状況

- H27. 6. 3(水) 八代市坂本町で土砂崩れにより市道が被災し集落が孤立。復旧にあたる八代市へテックフォースを派遣し技術協力を実施。八代市対策本部へはリエゾン(情報連絡員)を派遣。
※テックフォース:地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的支援を行う派遣隊。



▲崩壊状況(国土交通省より防災ヘリコプター「はるかぜ号」を派遣し撮影)



▲崩壊状況(法長=100m、市道被災延長15m)



▲中村八代市長へテック隊員である八代河川国道事務所副所長が対策工法への助言



▲対策会議の状況(場所:八代市坂本支所)

熊本県八代市坂本町での土砂崩れに伴うテックドクターの活動状況

●H27. 6. 4(木)にテックドクター(北園芳人 熊本大学名誉教授)を派遣し、土砂崩落状況の技術的見解を示しつつ、交通解放に関する助言を行った。

※テックドクター：高度な技術や専門的な知識を有する学識者



▲現地調査状況(市道市ノ俣線)



▲現地調査状況(崩落斜面)



▲報道関係者からの取材状況(市道市ノ俣線)



▲1日に1回開催した対策会議の状況(場所:八代市坂本支所)